

社会福祉協議会(社協)は、地域福祉を推進する民間の団体です



No.150

社協

みなみあしがら



夏休み寺子屋 未来のピカソを目指して

発行

社会福祉法人南足柄市社会福祉協議会・共同募金会南足柄市支会
〒250-0105 南足柄市関本403-2 南足柄市りんどう会館1階
TEL 0465-73-1575 FAX 0465-74-3276
ホームページ <http://www.minamisyakyo.or.jp> E-mail soumu@minamisyakyo.or.jp



○この広報誌は、皆さまから寄せられた社協会費、共同募金の配分金、企業広告費から作成されています。南足柄市社会福祉協議会では、来所時に健康状態の確認、マスクの着用、手指の消毒などをお願いしています。ご協力よろしくお願いたします。

対談「地域をつくる」

子どもの居場所づくりと垣根のない社会を目指して



手話通訳士

社協会長

幸田悦子 × 玉野真永

地域で必要な子ども支援とは？障害を持っている人との関わりとは？今後地域社会に必要とされる支援とは？社協広報誌150号を記念して、社協の玉野会長と手話通訳士の幸田さんに、これからの課題を中心に意見交換をしていただきました。司会は、生沼豊次社協広報委員です。

地域で必要な子ども支援とは

司会：社会情勢の変化やコロナの終息が見えない中で、子どもたちを取り巻く環境は厳しくなってきたと感じます。社協では、子どもたちの居場所づくりとして寺子屋事業を行っていますが、これまで子どもたちに関わる活動をされてきた中で思うことはありますか。

玉野：私の妻が寺子屋事業で「車いす探検隊」のボランティアとして参加したのですが、車いすでは自動販売機が使いにくいと気が付いた子がいたと話していました。普段の生活では気が付かないことに触れ、子どもにとっては驚きの発見だったのでしょうか。このような発見が福祉への理解につながると思います。

幸田：私も寺子屋事業には手話サークルひまわりの一人として参加していますが、今年は申込みされる方が多く、コロナ禍での子どもの居場所にもなっていると感じました。障害を持つ人と会う良い機会になっていると思います。私自身も楽しく関わらせていただいています。社協で行っている小学校での福祉教育も初めは岡本小学校だけでしたが、今は、市内の全小学校に広がりました。

司会：家庭環境が変化する中で、子ども

もたちに必要な支援は何だと思えますか。

玉野：「家があつて家庭がない」と言われます。住むところがあつても、その中の「交流」がないのです。地域が家庭の役割を担う支援が必要かと考えます。

幸田：青少年育成推進員をしていた時に夜間の見回り活動があるのですが、その時に出会った子どもたちの食生活が気になりました。子ども食堂のように集まって食べる機会があつたらと思っています。

司会：地域で子どもを育てるために大切にしたいことはありますか。

玉野：地域で働きたい高齢者と子どもを預けたい親を結びつけるため「ぼーぼー倶楽部」を始めました。お互いに必要だからこそ、活動につながったと思っています。今後も社協では、皆さんの要望をつなげる「接着剤」のような活動を進めていきたいと考えています。

幸田：子育てをしてきた時に、ご近所



同士のつながりの中で子どもが育つと感じました。子育てする環境に恵まれたことは、とても豊かなことだと思います。

(プロフィール)
玉野真永(たまの しんえい)
南足柄市社会福祉協議会会長(令和3年6月～)、人権擁護委員、元南足柄市社会教育委員、元PTA連絡協議会会長(県・市)、元南足柄市シルバー人材センター事務局長



生沼さん、玉野会長
マスクを外し、対談中はマスクを着用しております。

障害を持っている人との関わりとは

司会：幸田さんが手話を始めようとしたきっかけは何だったのでしょうか。

幸田：以前、小田原駅で電車を待っていた際に、男の子たちが声を出さずに会話しているのを見ました。とても楽しそうでした。その後、社協の広報誌で、初心者手話教室の案内を見て「あれは手話だったのか」と思い、受講したのがきっかけです。

司会：玉野会長は、障害を持つ方との関わりで、何か思いはありますか。

玉野：障害について、背が低い高い、男と女の違いのように、ごく普通のことであると理解しています。障害のあるとかないとかと言われますが、そのようなことを言わない社会になればと思います。

幸田：私は、聞こえない人と手話で話

社会福祉大会開催

日時：10月30日(土)

場所：南足柄市文化会館小ホール
市内小学生が考えた「ふくし標語」の優秀賞の発表や福祉功労者への表彰等を行います。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、規模を縮小して行います。



写真は令和元年度の様子です

している時は、障害を意識することはありません。逆に手話を通じない人との会話が上手くいかなかったり、聴覚障害に理解が無い現場に行ったりすると壁を感じます。福祉教育の講師としてサークルで小学校に訪れた際に、耳が聞こえない人へ子どもから「聞こえなくて不幸だと思ったことはありませんか」と質問がありました。その方は逆に、「あなたは今、幸せですか?」と質問しました。子どもが「幸せです」と答えると「私も同じです」と答えました。障害を持っていても持っていないくても同じなんだと気付く良い機会になったと思います。

司会：障害を持つ方が積極的に社会参加をするには、どのようなことが必要と考えますか。

玉野：まずは、世の中の人に障害を持っている人について知っていただくことだと思えます。以前りんどう会館に来た際に、計画停電で自動ドアが開かない時がありました。車いすの人の前を2回も通ったのに、私は、ドアを開けられずに困っていることに気が付きませんでした。そのことに後悔したと同時に、車いすの方からも声を掛けてもらえたら良かったと思えました。

幸田：お互いを知ることとは大切だと思えます。世の中、迷惑をかけてはいけないという風潮がありますが、逆に「お互いさま」という言葉があります。障害を持っている方も、もっと

声を上げられるようになると良いですね。

地域社会に必要なとされている支援とは

司会：今後、社協が考えるべき活動や支援は何だと思いますか。

幸田：手話は学び続けても終わりがなく、自分の成長を促すことができます。社協には、活動自体が学びとなる機会をもっと増やしていただけたらと思います。その上で、社協は、何をしているのかを皆さんに伝えることが重要かと思えます。

玉野：行政や民間の企業ではできない活動を実行していくのが社協の役割と考えます。

幸田：一緒にボランティア活動をしている人たちは、素敵な人たちで、今までにない経験ができます。ボランティア



左から幸田さん、
※写真撮影時のみ

アの気持ちは持っていて、行動に移すまでが難しいのだと思います。最初の一步を踏み出せる仲間が見つかるとうれしいと思います。

司会：思いやりのある行動が自然とできてくると社会全体も良くなりますよね。本日の対談をきっかけに今後もボランティアと社協が一体となって「垣根のない地域社会」を目指してほしいと思います。本日はありがとうございました。

(プロフィール)
幸田悦子 (こうだ えつこ)
南足柄市内在住、手話サークルひまわりに所属、ボランティアとして活動、手話通訳士



地域の皆さんが先生 夏休みだからできる体験を

「自然観察会」

自然観察指導員の佐々木純さんと角田はるひさんが先生です。まずは、自分の手のひらサイズを測り、昆虫の大きさ、草木の長さを知るための道具とします。校庭の隅に咲いている花や不思議な匂いのする葉っぱなど今まで気づかなかった発見がたくさんありました。



「手話教室」

手話サークルひまわりの皆さんによる手話教室です。基本的手話でのあいさつを学んだあと、グループごとに昔話を練習。それぞれ役割を決め、役になりきって、覚えてたの手話や身振り手振りを使って昔話を表現しました。



「車いす探検隊」

先生は、民生委員児童委員協議会中央地区障がい者部会の皆さんです。車いすの動かし方を教わった後は、ペアになり車いすで街へ。車いすを押している人は、周りにいる人に注意しながら、慎重に操作。乗っている人は、車いすの目線で普段の街がどのように見えるかを体験しました。



※ご紹介しきれなかった写真は、社協のホームページおよびフェイスブックでご覧いただけます。

夏休み寺子屋 市内で学び、遊んだ夏休み! 南足柄で育つ好奇心!

「森のピカソ①森で森の絵を描こう」 「森のピカソ②絞り染めに挑戦」



先生は、NPO法人あしがらアートの森の皆さん。美術という難しいけれど、アートという楽しくなる。そんな自由な体験をさせていただきました。

「はじめての“くさり編み”」

ボランティアグループ“ゆい”の皆さんが先生。かぎ針を使っての編み物に、初めは子ども達も苦戦しましたが、コツをつかむと集中して取り組んでいました。長くくさり編みができたら、あやとりにも挑戦しました。



「バス遠足」 皆でわんぱくランドに行きました。

プロから教わる



「お仕事体験+映画鑑賞」「お仕事体験+落語鑑賞」

文化会館の職員の皆さんが先生です。会場の消毒をし、「映画の森」「あしがら寄席」に来場するお客様をお出迎え。検温や手指の消毒、会場の案内をしました。マスクはしていても目が笑っていれば伝わること、向き合ってお辞儀をすれば気持ちは伝わることなどを教えていただきました。



「ハッピー♡パン教室」

パン工房ハッピーで働く皆さんによるパン教室です。先生たちから生地のコネ方を教えてもらうと、真剣な表情で取り組みました。
※就労継続支援施設であるパン工房ハッピーは、障害を持った人たちが『働く』ことの訓練をしているところです。

「車いすバスケット&パラスポーツ」

車いすバスケットの先生は、湘南SC 車椅子バスケットボール体験講座隊の皆さん。競技用車いすに乗って、実践的な練習を教わりました。カーレットは狩野えんがわ役場の皆さん、ポッチャは身体障害者福祉協会の皆さんから教えていただきました。



好奇心は“南極”まで!

「南極教室～南極に行ってみよう!」

先生の山本貴士さんは、子どもの頃から始めた無線通信の技術を生かし、第61次南極地域観測隊として南極で仕事をされました。南極の氷や実際に使用した防寒具が展示され、最新映像や実験動画など盛りだくさん。「いつか本物のオーロラを見たい」と、好奇心は南極まで飛んでいきました。



令和3年度 地域福祉研修会

「コロナで、再発見!」(約90分)

事例①「防災マニュアルの見直し」

狩野自治会 前自治会長 奥津 憲仁さん

事例②「駒形新宿地域福祉会の取り組み」

駒形新宿地域福祉会 会長 長山 誠一さん

事例③「おたがいさまネットの活動」

おたがいさまネットおかもと 会長 岩崎秀雄さん

おたがいさまネットみなみ 会長 永田米昭さん

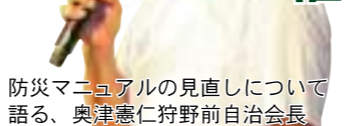
インターネット 動画サイトYouTubeにてご覧いただけます(録画・転載禁止)

DVD 社協窓口にてDVDの貸し出しをしています(貸出期間3日)

問合せ: ボランティアセンター 72-2299

9月3日(金)、文化会館小ホールにて、観客を入れない形で実施しました。今回は「コロナだからこそこんな風に活動を工夫した」という事例を3団体から発表いただきました。登壇者のお一人である狩野自治会前自治会長 奥津憲仁さんは「自治会活動は行事があったほうが実は楽だが、コロナの影響により、何もできなくなりました。だから、時間をかけて防災マニュアルの見直しができる」と説明。一方「実行に移すためには、日頃からの意識の共有が必要」と話し、見直し後の意識の持ち方が大事であることを訴えました。当日の様子は、次のとおり公開しています。ぜひご覧ください。

コロナで、再発見! 地域福祉研修会開催



防災マニュアルの見直しについて語る、奥津憲仁狩野前自治会長

「わたしのしおり」は、社協ホームページより、ダウンロードできます。市内在住の方には、今年度無料で配送しています。

【書き方のポイント】

- 書きやすい項目から書き、修正もできるようファイルにとじる形式にしています。
- 緊急の時に周囲の人が参考になるご本人の記録として活用できます。「もしもの時」に見てほしい人に保管場所を伝えておきましょう。

「わたしのしおり」は、社協ホームページより、ダウンロードできます。市内在住の方には、今年度無料で配送しています。

社協でこの春に独自に作成したエンディングノート「わたしのしおり」を、より活用していただけるよう、書き方についてわかりやすく説明する講座を開催しました。

7月29日(木) ネコノテカフェ(出前講座)

8月17日(火) 下怒田地域福祉会(出前講座)

8月25日(水) 社協主催講座

出前講座としても開催可能!

地域で気軽に歩いて行ける場所にお伺いする、小さな講座も開催可能です。お気軽にご相談ください。

問合せ: あんしんセンター 72-2109

エンディングノート
書き方講座

社協でこの春に独自に作成したエンディングノート「わたしのしおり」を、より活用していただけるよう、書き方についてわかりやすく説明する講座を開催しました。

(有)勝又 厚生労働省1級葬祭ディレクター安間さんによる講演



子どもたちのしあわせのために

里親制度をご存知ですか

子どもの成長には、家庭で暮らす時間や経験がとても大切です。さまざまな事情により自分の家族と暮らせない子どもたちがいます。そうした子どもたちを家族に迎え入れ、あたたかい愛情で成長のサポートをする人が「里親」です。地域で健やかに育つ場を作っていただけませんか。



実子がいてもいいの？

共働きでもいいの？

里親ってどんなこと
するのかな？

3日里親って
どんなことするの？

里親はできないけど
他にできることが
あるかな？

里親講座のお知らせ

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止になる可能性があります。

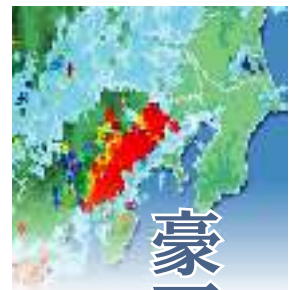
日時：10月13日(水) 10時〜12時
場所：小田原合同庁舎 2DE会議室
内容：①里親制度説明
②施設で生活する子どもたちについて
③里親体験談
申込み：小田原児童相談所 里親担当まで
TEL 32-8000 (代表)

お気軽にご相談ください
問い合わせ

- 児童養護施設 城山学園 62-8501
- 小田原児童相談所 里親担当まで 32-8000 (代表)

1日目は、静岡県小山町社会福祉協議会 松田直樹さんを迎え、「災害ボランティアセンター」について学びました。松田さんは「泥だしなどの力を必要とすることだけが災害ボランティアではない。地域のことをよく知っている皆さんだからこそ、平時から地域のつながりを深め、災害があった際は、地域の情報を伝えてほしい」と話し、数々の災害に遭った小山町での経験を踏まえ、情報を得て伝えることの大切さを参加者に訴えかけました。また、ハザードマップや災害情報サイトをQRコードで読み取る方法や、過去の風水害について動画で紹介がありました。

2日目および3日目は、日本赤十字社神奈川県支部指導員 東江文香^{あがりえみか}さんを迎え「避難と感染症」について学びました。まず、会場を避難所に見立て、ブルーシートに座りながら、避難時に使用する「避難者カード」



豪雨に備える

災害研修会開催

りんどう会館にて、7月2日(金)、12日(月)、14日(水)の3日間にわたって開催し、延べ65名の方にご参加いただきました。



ストッキングで腕の吊り方を学ぶ参加者

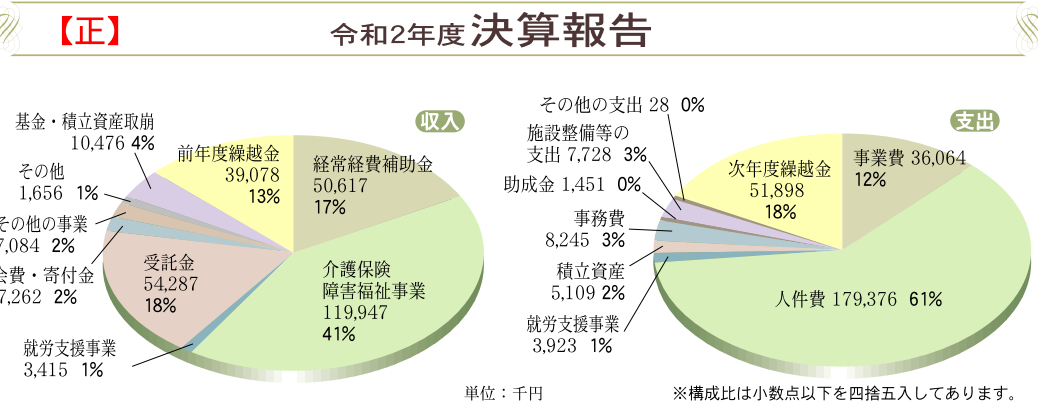
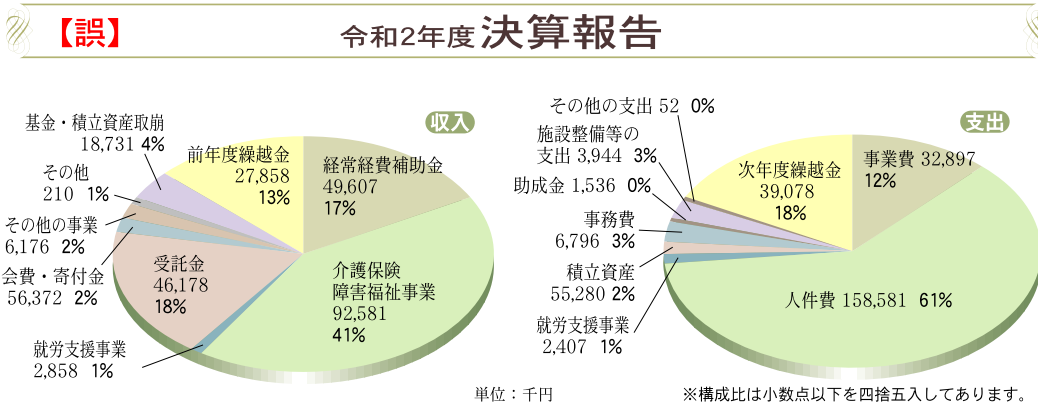
を実際に記入。怪我の手当では、ストッキングやバンドナを使用しました。衛生面に配慮した新聞紙を使ったコップ作りや、1杯のお湯でできるホットタオルの作り方など「あるもので工夫することが大切」という講師の言葉に耳を傾け、実践的な内容となりました。

※ホームページにアップロードしている広報については、既に修正をしております。

【誤】 岡本地区 日向地域福祉会 石川礼子
 【正】 岡本地区 日向地域福祉会 石川洋子

7月1日号P.3上段 決算報告 グラフ 金額の数値が誤っておりました

【お詫びと訂正】 社協広報誌7月1日号について「社協みなみあしがら7月1日号」につきまして、内容の一部に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、左記のとおり訂正させていただきます。



収入支出共に総額293,822千円

健康寿命延伸のための介護予防トレーニング

- ☑ 片足立ちで靴下が履けない
- ☑ 15分間続けて歩くことができない
- ☑ 階段を上がるのに手すりが必要
- ☑ わけもなく疲れた感じがする
- ☑ この1年間に転んだことがある

こんなサインがある方は↓

プライベートジム

250-0105
 南足柄市関本609-13
 電話 0465-20-7445
 営業時間 8:00~20:00(日・祝休み)

福祉用具・販売・レンタル・住宅改修

メディカルサービス おかもと

南足柄市福泉24-9
 TEL 73-3995

営業日 月~土曜日
 営業時間 午前9時~午後6時(月~金曜日)
 午前9時~午後5時(土曜日)
 休業日 日曜・祝祭日

不用品の整理処分

浄化槽から下水道への切替工事
 蜂の巣・害虫駆除

困ったら何でもご相談ください!!
 (引き取り費用がかかります)

私達は豊かなあしがら地域の自然と環境を守ります。

あしがら環境保全株式会社

本社営業所：南足柄市狩野4 8 6
 ☎74-0056(代)

営業時間 8:10~17:00(土曜午後・日曜・祝日は休み)

経験豊かなシルバーパワー いろいろお手伝い致します

チェアクロー

- ☆植木の剪定や除草
- ☆お掃除や障子張り
- ☆こどもの一時預かり
- ☆簡単なペンキや大工 他

お気軽にお問い合わせください

南足柄市シルバー人材センター
 〒250-0113南足柄市岩原1016-1おかもと福祉館内
 TEL.0465-72-0789 FAX.0465-73-4055

当事務所の特色 3つの柱

- ◇財産の管理、税金の相談
- ◇「成年後見」等のお手伝い
- ◇円満な相続及び相続対策のお手伝い

税理士法人 押田会計事務所

小田原事務所 〒250-0011 小田原市栄町1-11-16Mビル5F
 TEL.0465-20-1170

横浜事務所 〒220-0005 横浜市西区南幸2-19-4折目ビル4F
 TEL.045-313-1546

https://www.oshidakaikei-tms.or.jp

医療法人 おぎの整形外科・歯科

診療時間

整形外科	AM9:00~12:00 PM3:00~6:00
歯科	AM9:00~12:00 PM3:00~6:00
	土曜日のみ PM2:00~5:00

休診日 水・日曜・祝日

整形外科 TEL.0465-73-1100
 歯科 TEL.0465-73-2288
 〒250-0105神奈川県南足柄市関本750-1
 http://www.ogino.or.jp


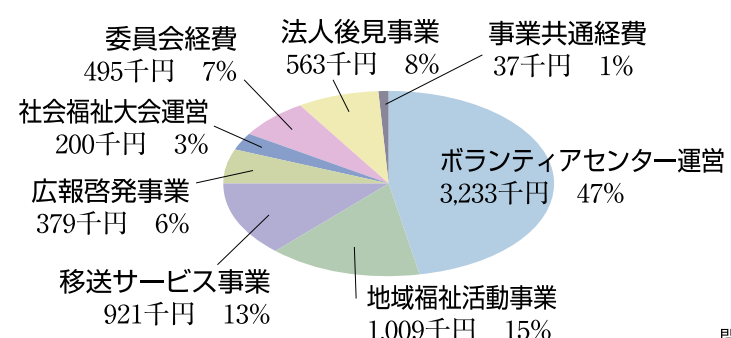

社協会員募集

◆社協の会員とは

南足柄市社会福祉協議会は、今年度から「いつまでも健康で人がつながり支え合うまち 南足柄」をスローガンに、皆さまの協力と参加を得て、行政の制度を補完する形で地域福祉活動を進めています。社協会員になると、会費という形で福祉活動にご協力いただけます。皆さまからいただいた会費は、地域に密着した活動をさらに充実させるための貴重な財源として活用されています。

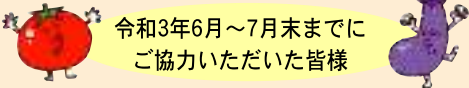
 <p>一般会員 年間1口 600円</p>	 <p>賛助会員 年間1口 5,000円</p>	 <p>特別会員 年間1口 1,000円</p>
各世帯の皆さまに加入をお願いしています。取りまとめは各自治会に行ってください。	協議会の趣旨目的に賛同する企業等の皆さまが対象です。	社会福祉に関係のある団体等が対象です。

◆会費の使いみち (令和3年度予算 計:6,837千円)

 <p>災害ボランティア研修会</p>	 <table border="1"> <tr><th>事業名</th><th>金額</th><th>割合</th></tr> <tr><td>ボランティアセンター運営</td><td>3,233千円</td><td>47%</td></tr> <tr><td>地域福祉活動事業</td><td>1,009千円</td><td>15%</td></tr> <tr><td>移送サービス事業</td><td>921千円</td><td>13%</td></tr> <tr><td>広報啓発事業</td><td>379千円</td><td>6%</td></tr> <tr><td>委員会経費</td><td>495千円</td><td>7%</td></tr> <tr><td>法人後見事業</td><td>563千円</td><td>8%</td></tr> <tr><td>社会福祉大会運営</td><td>200千円</td><td>3%</td></tr> <tr><td>事業共通経費</td><td>37千円</td><td>1%</td></tr> </table>	事業名	金額	割合	ボランティアセンター運営	3,233千円	47%	地域福祉活動事業	1,009千円	15%	移送サービス事業	921千円	13%	広報啓発事業	379千円	6%	委員会経費	495千円	7%	法人後見事業	563千円	8%	社会福祉大会運営	200千円	3%	事業共通経費	37千円	1%	 <p>寺子屋事業</p>
事業名	金額	割合																											
ボランティアセンター運営	3,233千円	47%																											
地域福祉活動事業	1,009千円	15%																											
移送サービス事業	921千円	13%																											
広報啓発事業	379千円	6%																											
委員会経費	495千円	7%																											
法人後見事業	563千円	8%																											
社会福祉大会運営	200千円	3%																											
事業共通経費	37千円	1%																											

問合せ：総務企画班 73-1575

寄付をありがとうございます。



令和3年6月～7月末までに
ご協力いただいた皆様

石川寛、伊藤栄、栗田實、下田淑子、杉本成行、羽田保子、古瀬常男、松田善久、室井貞好、和田春美、匿名希望の方々、主任児童委員の方々、民生委員の方々、ボランティア協会、NPO法人報徳食品支援センター、JAかながわ西湘、富士エナジー株式会社（五十音順、敬称略）

●「みなみのお福さん」とは…社協が実施している食料支援の取り組みです。食料をお分けすることを「お福分け」、寄付をいただくことを「お福集め」と呼んでいます。

7月31日(土)と8月14日(土)に実施した「みなみのお福さん」には、延べ50件の申込みがありました。地域の皆さまからたくさんのお福が集まり、段ボールぎっしりの食料や日用品をお渡しすることができました。新鮮野菜の寄付などもあり、南足柄らしい「お福さん」でした。また、16名のボランティアに仕分けや梱包作業を担っていただきました。たくさんの方々の気持ちや力に支えられ、これからは必要な方に、配布会に限らず食料や日用品をお分けしていきます。

「みなみのお福さん」はじまりました



寄付の窓口

あたたかい寄付を R3.6.1~R3.8.31
ありがとうございます (敬称略)

【寄付金】アサヒビール神奈川工場……………150,000円
匿名希望 (1件) ……………100,000円

異動

〔採用〕9月1日付
▽地域福祉班……………湯山乃布子
〔退職〕8月31日付
▽総務企画班……………菺田悦子

被災された方々が、前を見て強く歩みを進めてきているように、私たちも前を向いていける、そう信じずにはいられません。(広報委員 細井千尋)

まさか自分の下の世代が、そして、まさかウイリスによって、同じ想いを抱えることになるうとは。でも考えてみれば、原発事故や自然災害によっても、同じことが言えます。とても心が痛みます。

コロナ禍の二年、私たちはそれぞれに二度と取り戻せない時間を過ごしてきています。ことさらに若い人たち。小学生には小学生の、中学生、高校生、大学生、みなそれぞれの時期に経験すべきこと、体験したいことがたくさんあったはず。当たり前前にできていたことが、制限されたり、全くなかったり。今でなくてはならないことがいっぱいあるのに。

りんどう便り

